

## 2014年6月 ITU-R SG1会合報告書(案)

【会合名称】 ITU-R SG1 会合  
(周波数管理に関する研究委員会)

【会 期】 2014年6月12日(木)

【開催場所】 スイス ジュネーブ ITU 本部

【概 要】

本会合は、今研究期間における第3回会合である。38ヶ国の主管庁と12の認められた通信、放送、科学技術、工業団体、地域及び国際機関並びに事務局より115名が参加した。日本からの参加者は、菅田氏、宮澤氏、白井氏(総務省)、服部氏、小林氏(NTTアドバンステクノロジー)の5名である。

WP1A、1B及び1Cからの寄書及び他グループからのリエゾン文書等を含め計35件の入力文書が審議された。この結果、2件の新勧告及び5件の勧告改訂案の採択・承認、2件の新報告及び3件の報告改訂の承認、2件のハンドブック改訂等がなされた。

## 1. 勧告案

WP1Bから提出された2件の勧告改訂案、またWP1Cから提出された3件の勧告改訂案及び2件の新勧告の合計7件が採択・承認された。

なお、RA-12で採択されたITU-R決議1-6に示されたワーキングメソッドに従い、5件の勧告改訂の承認にあたっては、PSAA（Procedure for the Simultaneous Adoption and Approval by correspondence）による採択・承認手続きがとられた<sup>1</sup>。

### 1.1 WP1Aからの勧告案

---

入力文書 Doc. 1/102, 103

WP1Aからの勧告案の提出はなかった。

### 1.2 WP1Bからの勧告案

---

入力文書 Doc. 1/102, 103

WP1Bから提出された以下の2点の勧告改訂案が承認された。なお、1/103（ITU-R勧告 SM.1603-1 Spectrum redeployment as a method of national spectrum management）は、イスラエルの提案により“low power SRD”から“low power”の記述を削除する等の修正をした上で承認された。

文書番号	勧告案名	表題	種別
1/102	SM.1413-2	Radiocommunication Data Dictionary (RDD)	改訂
1/103	SM.1603-1	Spectrum redeployment as a method of national spectrum management	改訂

### 1.3 WP1Cからの勧告案

---

入力文書 Doc. 1/96,97,98,105,106

WP1Cから提出された以下の5件の勧告案（勧告改訂案3件、新勧告案2件）が審議された。1/105（新ITU-R勧告SM.[DF\_ACCURACY] DF精度測定のための試験手順）については、Annex 2.7項「試験データの評価」における記述「DF accuracy:  $\leq 2.5^\circ$  RMS (30 MHz to 3000 MHz, according to Recommendation ITU-R SM.[DF\_ACCURACY])」を「DF accuracy:  $\leq 2.5^\circ$  RMS (30 MHz to 3 000 MHz)」に修正した上で、PSAAを適用せずに2段階 Correspondence<sup>2</sup>による承認手続きをとることを条件に合意され、SG1で承認された。また、1/106（新ITU-R勧告SM.[DF\_IMMUNITY] マルチパス伝搬に対するDF耐性測定のための試験手順）についても、同様に2段階Correspondenceによる承認手続きをとることを条件に合

---

<sup>1</sup> Working methods for the Study Groups ([Resolution ITU-R 1-6](#)) 参照。ただし、RRに参照により引用されている勧告は対象外とされる。

<sup>2</sup> 本手続きでは、まず、Correspondenceによる採択をかけ、2ヶ月の間、コメントを募集する。この期間中にコメントがなければ、さらに2ヶ月の期間で承認手続を実施する。一方、採択に対するコメント募集期間に異議があれば、当該WPに差し戻し、次回会合で作業を継続することになる。

意され、SG1で承認された。本件については、今後日本からの寄与が期待されている旨の発言があった。これらを除く3件の勧告改訂案は特段の議論・質問等なく承認された。

文書番号	勧告案名	表題	種別
1/96	SM.1051-2	Priority of identifying and eliminating harmful interference in the band 406-406.1 MHz	改訂
1/97	SM.1268-2	Method of measuring the maximum frequency deviation of FM broadcast emissions at monitoring stations	改訂
1/98	SM.1875-1	DVB-T coverage measurements and verification of planning criteria	改訂
1/105*	SM.[DF_AC CURACY]	Test procedure for measuring Direction Finder accuracy	新
1/106*	SM.[DF_IM MUNITY]	Test procedure for measuring Direction Finder immunity against multi-path propagation	新

\* PSAAではなく2段階Correspondenceによる承認手続きを適用することを条件に承認された

## 2. 勧告のエディトリアルな修正

入力文書 Doc.1/92,107

WP6A及びWP1Aから入力されたITU-R勧告SM.1541-5（帯域外の不要発射）のエディトリアルな修正は特段の質問・議論なく承認された。

なお、勧告のエディトリアルな修正は新勧告や勧告改訂の承認手順とは異なりSG1会合により採択・承認され、会合終了後すぐに有効とされる。

文書番号	提出元	勧告名	表題
1/92,107	WP6A, WP1A	SM.1541-5	Unwanted emissions in the out-of-band domain

## 3. 研究報告<sup>3</sup>

### 3.1 WP1Aからの研究報告案

入力文書 Doc.1/109

以下の1件の文書について、英国（BBC）からWPTから放送業務への影響に関してコメントが出されたが、研究報告案については修正なく承認された。

文書番号	研究報告名	表題	種別
1/109	SM.2303	Wireless power transmission using technologies other than radio frequency beam	新

<sup>3</sup> 研究報告は SG1 会合により採択・承認され、会合終了後すぐに有効とされる

## 3.2 WP1Bからの研究報告案

---

入力文書 Doc.1/112

以下の1件の文書が特段の質問・議論なく承認された。

文書番号	研究報告名	表題	種別
1/112	SM.2012-4	Economic aspects of spectrum management	改訂

## 3.3 WP1Cからの研究報告案

---

入力文書 Doc.1/99, 100, 101, 104

我が国からの提案である新報告1件と報告改訂3件が審議された。ITU-R勧告SM.2211（信号の位置特定に関する到達時間差法と到来角法の比較）は、セクション4から“discussion”の記述を削除したほか、エディトリアルな修正をした上で承認された。これを除く3件の報告案は、特段の質問・議論なく承認された。

文書番号	研究報告名	表題	種別
1/99	SM.2056-1	Airborne verification of antenna patterns of broadcasting stations	改訂
1/100	SM.2304	Application of technical identification and analysis of specific digital signals	新
1/101	SM.2211-1	Comparison of time-difference-of-arrival and angle-of-arrival methods of signal geolocation	改訂
1/104	SM.2257-2	Spectrum management and monitoring during major events	改訂

## 4. 新課題及び課題の改訂

今会合では特に議論はなかった。

## 5. 新ハンドブック及びハンドブックの修正

### 5.1 WP1Aからのハンドブック修正案

---

入力文書 Doc.1/108

以下の1件のハンドブックについて、ハンドブック内の他の文書への参照についてアップデートすることが必要である旨が説明され、SG1議長とカウンセラーで確認と修正を行うことが提案・承認された。また、P.219の“IBM PC”等の古い記述を削除してほしい旨の説明がイスラエルからあり、SG1議長よりカウンセラーとの作業により全体をチェックして該当する部分を削除・修正することが承認された。これらの確認と修正作業を行うことを前提として本文書は承認された。

文書番号	ハンドブック名	種別
1/108	computer-aided techniques for spectrum management (CAT)	改訂

## 5.2 WP1Bからのハンドブック修正案

---

入力文書 Doc.1/113

以下の1件のハンドブックについて、文書内の他文書への参照についてアップデートが必要なものがある等の説明があり、SG1会合終了後にアドバイザーも含めてエディトリアルな修正を行うことが提案・承認され、これを前提に文書が承認された。

文書番号	ハンドブック名	種別
1/113	National spectrum management (NSM)	改訂

## 6. 勧告、研究報告、研究課題の削除

今会合では特に議論はなかった。

## 7. ハンドブック、課題、勧告、報告、意見、決議、決定のステイタス

### 7.1 現状の確認

---

入力文書 Doc.1/2(Rev.1)

SG1の研究課題の完了時期及び担当WPについて議論がなされた。完了時期は赤字で示された部分および研究課題210-3/1が2015年まで延長されることが承認された。当該研究課題の担当WPについて、「1A(1B)」との記載とするとともに、WP1BはWP1Aの検討の進捗に応じて検討に参加することが脚注に記載されることで、承認された。

### 7.2 課題の延長

---

入力文書 Doc.1/1(Rev.1), 2(Rev.1)

上記7.1参照。

### 7.3 SG1に注意が喚起された勧告および課題

---

入力文書 Doc.1/93, 94

1/93, 94 (SG1の注意喚起が必要とされるSG5による勧告2件 (M.1580-5, M.1581-5) ) はノートされた。1/94については、完成を2014年に変更することを記載された。

## 8. 他の SG や国際機関とのリエゾン

### 8.1 ITU-R

---

入力文書 Doc.1/85, 90

1/85 (ITU-T SG13研究課題16/13に関するリエゾン文書)、1/90 (ITU-R研究課題255/7) については質問・議論なくノートされた。

### 8.2 ITU-T

---

入力文書 Doc.1/86, 91

1/86 (WTSA-12行動計画に関するリエゾン文書)、1/91 (ITU-T研究委員会とICTイノベーションパネルのための新しい標準化活動に関するリエゾン文書) については質問・議論なくノートされた。

### 8.3 ITU-D

---

#### 入力文書 Doc.1/89, 110

1/89 (用語「ICT」の実用的な定義を推敲するコレスポネンスグループにおいて合意された定義に関するリエゾン文書) については、本会合期間内のジョイントミーティングで結論が出ているため、ここではその結論をノートするのみとする旨が説明された。また、1/110 (WTDC-14で決議9になされた活動の継続に関する改訂) については、ITU-Dの決議9に関して、ITU-RとITU-Dの協力作業の進め方の議論がなされ、今後のITU-D会合の日程をSG1会合に合わせてジョイントミーティングを容易にすることが合意された。

### 8.4 CISPR

---

#### 入力文書 Doc.1/87, 88

1/87 (8.3-9kHz帯の割当てに関するCISPRからの情報)、1/88 (ITU-R研究課題210-3/1「ワイヤレス電力伝送」に関するWP1Aリエゾン文書への返信) については質問・議論なくノートされた。

### 8.5 その他の機関

---

#### 入力文書 Doc.1/95

ECO (European Communications Office) から入力された1/95 (CEPT/ ECCの成果に関する情報) については質問・議論なくノートされた。

### 8.6 コンタクトパーソン

---

SG1議長からWPTに関するCISPRとのコンタクトパーソンについて、日本から選出するよう要請があったところ、日本への帰国後に人選について検討し、別途回答する旨返答した。その他の機関とのコンタクトパーソンはケース・バイ・ケースで選ばれることが承認された。なお、電磁界への人体ばく露についてはMAZAR Haim氏 (イスラエル、SG1・WP1A副議長) がITU-TとITU-Dへのコンタクトパーソンになることを提案し、了承された。

## 9. 次回の SG 会合

来年のSG1の各WP会合は2015年6月3日から10日まで、SG1会合は6月11日及び12日にスイス (ジュネーブ) において開催される予定。

## 入力文書一覧

文書番号	提出元	表題	
84	Chairman, SG 1	Summary record of the meeting of Radiocommunication Study Group 1	SG1 会合報告書の概要
85	WP 5D	Liaison statement to ITU-T Study Group 13 Question 16/13 (copy to ITU-R Study Group 1 and for information to Working Parties 5A, 5B and 5C)	ITU-T SG13 研究課題 16/13 へのリエゾン文書
86	TSAG	Liaison statement on WTSA-12 Action Plan	WTSA-12 行動計画に関するリエゾン文書
87	Director, BR	CISPR letter on the use of the band 8.3-9 KHz	8.3-9kHz 帯の割当てに関する CISPR からの情報
88	International Special Committee on Radio Interference	Reply to Working Party 1A liaison statement on study on Question ITU-R 210-3/1 "Wireless power transmission"	ITU-R 研究課題 210-3/1「ワイヤレス電力伝送」に関する WP1A リエゾン文書への返信
89	Chairman, ITU-D SG 1	Liaison statement - Agreed Working Definition of the Term "ICT" - Correspondence Group on the Elaboration of a Working Definition of the Term "ICT"	用語「ICT」の実用的な定義を推敲する コレスポネンダグループにおいて合意された定義に関するリエゾン文書
90	SG 7	Question ITU-R 255/7	ITU-R 研究課題 255/7
91	ITU-T LS 07R1	Liaison statement on New Standardization Activities for ITU-T Study Groups and ICT Innovation Panel	ITU-T 研究委員会と ICT イノベーションパネルのための新しい標準化活動に関するリエゾン文書
92	WP 6A	Liaison statement to Study Group 1 - Recommendation ITU-R SM.1541-5 - Unwanted emissions in the out-of-band domain	帯域外の不要発射に関する ITU-R 勧告 SM.1541-5 に係る SG1 へのリエゾン文書
93	SG 5	Recommendation ITU-R M.1580-5 - Generic unwanted emission characteristics of base stations using the terrestrial radio interfaces of IMT-2000	IMT-2000 の地上無線インターフェースの基地局における不要輻射特性に関する ITU-R 勧告 M.1580-5
94	ITU-R SG 5	Recommendation ITU-R M.1581-5	ITU-R 勧告 M.1581-5
95	European Communications Office	Information about recent CEPT/ECC deliverables	CEPT/ ECC の成果に関する情報
96	WP 1C	Draft revision of Recommendation ITU-R SM.1051-2 - Priority of identifying and eliminating harmful interference in the band 406-406.1 MHz	406-406.1 MHz 帯における有害干渉の特定・除去への優先的対応に関する ITU-R 勧告 SM.1051-2 の改訂案
97	WP 1C	Draft revision of Recommendation ITU-R SM.1268-2 - Method of measuring the maximum frequency deviation of FM broadcast emissions at monitoring stations	監視局における FM 放送波の最大周波数偏差の測定方法に関する ITU-R 勧告 SM.1268-2 の改訂案
98	WP 1C	Draft revision of Recommendation ITU-R SM.1875-1 - DVB-T coverage measurements and verification of planning criteria	DVB-T カバレッジ測定と計画基準の検証に関する ITU-R 勧告 SM.1875-1 の改訂案
99	WP 1C	Draft revision of Report ITU-R SM.2056-0 - Airborne verification of antenna patterns of broadcasting stations	航空機による放送局のアンテナパターンの検証に関する ITU-R レポート SM.2056-0 の改訂案
100	WP 1C	Draft new Report ITU-R SM.[TECH-IDENT] - Application of technical identification and analysis of specific digital signals	特定のデジタル信号の技術的特定及び分析アプリケーションに関する新 ITU-R 勧告案 SM.[TECH-IDENT]

文書番号	提出元	表題	
101	WP 1C	Draft revision of Report ITU-R SM.2211 - Comparison of time-difference-of-arrival and angle-of-arrival methods of signal geolocation	信号の位置特定に関する到達時間差法と到来角法の比較に関する ITU-R レポート SM.2211 の改訂案
102	WP 1B	Draft revision of Recommendation ITU-R SM.1413-2 - Radiocommunication Data Dictionary (RDD)	RDD に関する ITU-R 勧告 SM.1413-2 の改訂案
103	WP 1B	Draft modification of Recommendation ITU-R SM.1603-1 - Spectrum redeployment as a method of national spectrum management	NSM の方法としての周波数再配置に関する ITU-R 勧告 SM.1603-1 の改訂案
104	WP 1C	Draft modification of Report ITU-R SM.2257-1 - Spectrum management and monitoring during major events	主要イベントにおける周波数管理と監視に関する ITU-R レポート SM.2257-1 の改訂案
105	WP 1C	Draft new Recommendation ITU-R SM.[DF_ACCURACY] - Test procedure for measuring Direction Finder accuracy	DF 精度測定のための試験手順に関する新 ITU-R 勧告案 SM.[DF_ACCURACY]
106	WP 1C	Draft new Recommendation ITU-R SM.[DF_IMMUNITY] - Test procedure for measuring Direction Finder immunity against multi-path propagation	マルチパス伝搬に対する DF 耐性測定のための試験手順に関する新 ITU-R 勧告案 SM. [DF_IMMUNITY]
107	WP 1A	Draft editorial modification of Recommendation ITU-R SM.1541-5 - Unwanted emissions in the out-of-band domain	帯域外不要発射に関する ITU-R 勧告 SM.1541-5 の改訂案
108	WP 1A	A draft revision of ITU-R Handbook on computer-aided techniques for spectrum management (CAT) dated 10 June 2014	CAT ハンドブックの改訂案
109	WP 1A	Draft new Report ITU-R SM.[WPT.NON-BEAM] - Wireless power transmission using technologies other than radio frequency beam	無線周波数ビーム技術を使用しないワイヤレス電力伝送に関する新 ITU-R レポート案 SM. [WPT. NON-BEAM]
110	Director, BDT	Revisions made by WTDC-14 to Resolution 9 - Continuation of activities	WTDC-14 で決議 9 になされた活動の継続に関する改訂
111	Chairman, WP 1C	Executive Report to Study Group 1	SG1 の議長報告書
112	WP 1B	Draft modification of Report ITU-R SM.2012-3 - Economic aspects of spectrum management	周波数管理の経済的側面に関する ITU-R 勧告 SM.2012-3 の改訂案
113	WP 1B	Draft revision of the ITU-R Handbook on "National spectrum management"	NSM ハンドブックの改訂案
114	Chairman, WP 1A	Executive Report to Study Group 1	SG1 の議長報告書
115	Chairman, WP 1B	Executive Report to Study Group 1	SG1 の議長報告書
116	SG 1 Co-Rapporteurs	Report to Working Party 1B on the work of the Study Group 1 Co-Rapporteurs on the review of ITU-R Recommendations in the SM Series for the database on ITU-R Recommendations	ITU-R 勧告データベースのための ITU-R 勧告 SM シリーズのレビューに関する SG1 共同レポートによる作業の WP1B への報告
117	BR Study Groups Department	List of documents issued (Documents 1/84 - 1/117)	入力文書一覧(1/84-1/117)
118	Director, BR	Final list of participants - Study Group 1	SG1 最終参加者一覧